

KOREA SHOOTING GUIDE

最大30%のロケーションインセンティブ

優秀な人材と、水準の高い施設や環境

地域のフィルムコミッションとの積極的な協力

- 韓国には映画制作に必要な、全てのものが揃っている

目次

04 韓国で撮影する七つの理由

ビデオとDVD
有用な連絡先

06 韓国の撮影インセンティブ制度

08 韓国の概要

- 10 地理
- 11 季節と気候
- 12 時間帯
交通手段
- 14 宿泊
食事
- 15 通信
インターネット
郵便及び運送サービス
銀行
電力

16 韓国の映画産業

- 17 概要
国内産業
世界市場での認知度
- 18 投資誘致及び収益構造
投資構造
メイン投資会社
投資ファンド
収益分配

22 映画産業の基盤

- 23 人材
- 24 設備





28 地域のフィルムコミッション

- 30 ソウルフィルムコミッション
- 32 釜山フィルムコミッション
- 34 京畿パフォーマンス&フィルムコミッション
- 35 仁川フィルムコミッション
- 36 清風フィルムコミッション
- 37 大田フィルムコミッション
- 38 全州フィルムコミッション
- 39 全南フィルムコミッション
- 40 慶南フィルムコミッション
- 41 済島フィルムコミッション

42 法律及び税制度

- 42 会社法
- 44 税金
- 44 ビザ
- 45 関税
- 46 著作権

48 韓国の共同製作者と出会うには

- 49 韓国映画振興委員会のKO-PRODUCTION
- 50 プロジェクトマーケット
 - Asian Project Market
 - NAFF
 - JPM
- 51 制作者協会
 - KFPA
 - PGK

52 業界連絡先

- 52 韓国映画振興委員会
 - 国際映画祭
 - 団体及び協会
- 53 政府機関
 - その他、映画関連機関



韓国で撮影する 七つの理由





1. 外国映像物国内ロケーション支援

韓国映画振興委員会は、韓国内で財貨と役務に支払われた外国映画の製作費用に対して 最大30%、金額としては最高26億ウォンまでの現金インセンティブを提供する。

2. 発展する韓国の映画産業

世界で11番目に大きい映画市場である韓国は、アジアの芸能産業界で最も大きな影響力を持つ国家である。(根拠資料: PWC2009) アジア全域を圧する韓流がその良い例であろう。

3. 優秀な人材

韓国には海外の映画祭で受賞した監督と俳優、そして専門的なスタッフと技術陣がいる。韓国映画を支える人々の能力は、世界的水準だということを世界の映画界は認めている。

4. 丈夫なインフラ

韓国は多様な規模の室内スタジオと野外セット場を始め、編集・音響・デジタル現像作業などのポストプロダクション施設を備えている。先進の ITインフラと熟練した技術者たちが加わり、韓国のデジタル編集作業とVFX作業室は世界最高水準を誇る。

5. 地域のフィルムコミッションとのネットワーク

1999年から全国各地に設立された10ヶ所のフィルムコミッションがロケーションハンティングと、地域内の撮影を積極的に支援している。

6. 自然と文化遺産

季節的な特性がはっきりとしている四季と、どの撮影地でも楽に移動することが出来る交通の便利さ。そして、五千年を超える歴史の中で伝わって来た文化遺産まで、韓国は映画撮影に必要な全ての要素を持っている。

7. 費用効率が低い環境

韓国は優秀な質を維持しつつも、価格競争力のある製作プロダクションサービスを提供する。OECD 国家の中では、最も安い物価水準の方に属している

韓国の撮影 インセンティブ制度

外国映像物国内ロケーション支援 (Foreign Audio-visual Works Production Grant)

韓国映画振興委員会は、2011年から韓国で撮影される外国の長編劇映画とテレビドラマの製作費の一部を支援する。韓国国内で支出された財貨と役務に対して現金で支援するサポートプログラムで、海外の制作会社は完成度の高い映像物を、押さえた費用で製作することが出来る。

製作費の 最大30%までを現金支給

韓国で支出された製作費用の最大30%まで現金で支給する。支援金の規模は支援申請日を基準に残存予算の範囲内で決定し、一作品につき最大で26億ウォンまでの支援が可能である。

支援対象の製作物

海外の映像制作会社が製作し、外国資本が純製作費の80%を超過して投資される長編劇映画・テレビドラマで、次の要件を満

たさなければならない。

- 韓国映画振興委員会が認める外国映像物の韓国内製作費用が1億ウォン以上であること。
- 韓国映画振興委員会が「観光貢献度」、「韓国映画産業貢献度」、「外国制作会社参加度」を評価し、支援の必要性が認められること。

申請資格

韓国に事業者登録された法人で、外国映像物の制作会社とプロダクションサービス契約を締結し、外国映像物の韓国内での製作に必要な役務を提供して、韓国内での製作費を管理する会社。

手続き

事前申請、約定書締結、最終申請、支援金支給の順で進行



- 事前申請**：支援申請者が事前支援申請書及び添付書類を韓国映画振興委員会に提出
韓国映画振興委員会で支援可否、支援可能な金額(暫定額)を評価
- 約定書締結**：韓国映画振興委員会と支援申請者の間で支援約定書を締結
- 最終申請**：韓国内製作完了後、支援申請者が最終支援申請書及び添付書類を韓国映画振興委員会に提出、韓国映画振興委員会で支援可否及び支援金額を最終決定
- 支援金支給**：支援申請者の口座に支援金を入金

その他の事項

同事業の年間予算、支援限度、支援手続きは毎年変更されることがある。

同事業の詳細情報は映画振興委員会のウェブサイト、www.koreanfilm.or.krで確認出来ます。

韓国映画振興委員会(Korean Film Council)

韓国映画振興委員会は、大韓民国の政府である文化体育観光部から映画に関する支援役割の委任を受けた専門機構で1973年に創立された。文化体育観光部長官が委託した9人の委員(常任委員長1人、非常任委員8人)が、韓国映画の振興に対する重要な政策を審議して決定する。

韓国映画振興委員会は韓国映画の製作支援の任務を遂行する国内振興部、海外進出を専担する国際事業部、映画政策を樹立する一政策研究部、映画の専門人材養成機関である韓国映画アカデミー、映画製作支援施設である南揚州総合撮影所、デジタル映画と3D映画など未来の映画技術を研究し普及する技術支援部、そして映画発展基金を管理する企画広報部と、経営支援部などの組織で成り立っている。

地域のフィルムコミッションとのネットワーク

韓国には2013現在、計10ヶ所のフィルムコミッションが主要都市と地域にあり、しっかりとした協力体制を構築している。各フィルムコミッションは映画製作に必要なサービスを提供し、一部のフィルムコミッションは現金支援のインセンティブ制度を設けている。

区分	支援内容
現金支援 インセンティブ	・該当地域で支出した製作費の一定比率を現金で支援 (一作品の支援限度：1億ウォン、約USD85,000)
ロケーション サービス	・撮影地探し、交渉、撮影許可代行 ・撮影進行に必要な諸般の行政支援 ・宿泊、交通などについての情報提供 ・フィルムコミッションが所有する関連施設と装備支援

各フィルムコミッションで提供される支援内容の詳細は、“地域のフィルムコミッション”の章に記している。



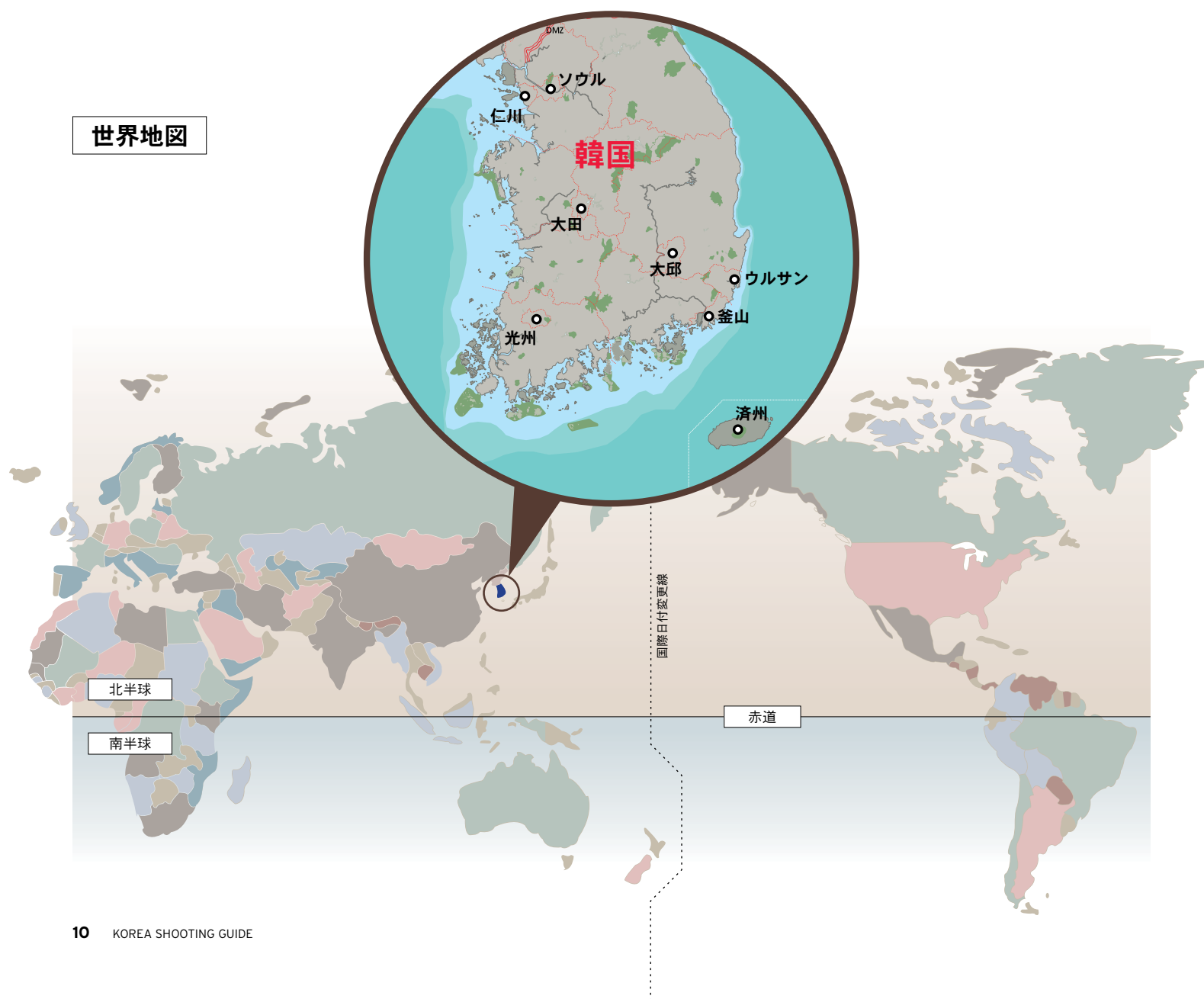


韓国概要

最大30%のロケーションインセンティブ
優秀な人材と、水準の高い施設や環境
地域のフィルムコミッションとの積極的な協力-
韓国には映画制作に必要な、全てのものが揃っている

地理

北太平洋沿岸に位置し中国と日本の隣にある韓国は、国土の約70%が山地の半島である。北緯38度には休戦ラインが引かれ、本土とメインアイランドの済州島から成り立ち、特別自治区に指定された済州島は火山爆発によって形成された美しい景色が有名である。韓国の領土は約100,140平方Km、人口は約4,870万人に至る。GDP基準では世界で15番目の経済規模を持つ国家で、通貨単位はウォン(Won)、首都はソウルである。





季節と気候

韓国は、四季がはっきりとした大陸性の気候で、春と秋は穏やかで美しい自然を満喫することが出来る。冬は全般的に乾燥して寒く、夏は80%ほどの湿度があり気温が高くて蒸し暑い。東アジアモンスーンの影響で年間降水量の50～60%が夏に降り、7月末頃に2、3回、台風が来ることもある。

韓国の気候についての追加情報は、www.kma.go.krで確認出来ます。



時間帯

GMT+9、日本と同じ時間帯を使用しサマータイムはない。

都市	時間							
ソウル・東京 (韓国時間)	01:00	04:00	07:00	10:00	13:00	16:00	19:00	22:00
台北・マニラ・香港 クアラルンプール・シンガポール	24:00	03:00	06:00	09:00	12:00	15:00	18:00	21:00
バンコク・ジャカルタ	23:00	02:00	05:00	08:00	11:00	14:00	17:00	20:00
ニューデリー・カルカッタ	22:00	01:00	04:00	07:00	10:00	13:00	16:00	19:00
テヘラン・クウェート ジェッダ	19:00	22:00	01:00	04:00	07:00	10:00	13:00	16:00
ハムブルグ・ローマ・パリ アムステルダム	17:00	20:00	23:00	02:00	05:00	08:00	11:00	14:00
ロンドン・マドリード	16:00	19:00	22:00	01:00	04:00	07:00	10:00	13:00
リオデジャネイロ サンパウロ	13:00	16:00	19:00	22:00	1:00	04:00	07:00	11:00
ニューヨーク・モントリオール ボゴタ・トロント	11:00	14:00	17:00	20:00	23:00	02:00	05:00	08:00
シカゴ・ヒューストン	10:00	13:00	16:00	19:00	22:00	01:00	04:00	07:00
バンクーバー・シアトル サンフランシスコ・LA	08:00	11:00	14:00	17:00	20:00	23:00	02:00	05:00
シドニー・メルボルン	02:00	05:00	08:00	11:00	14:00	17:00	22:00	23:00

交通手段

航空

韓国では国際線を運航する二つの国際航空会社と、国内の都市を繋ぐ四つの国内航空会社がある。

国際航空会社

大韓航空 www.koreanair.com

アジアナ航空 <http://flyasiana.com/>

国内航空会社

ジンエアー www.jinair.com

済州航空 www.jejuair.net

エアプサン <http://en.airbusan.com>

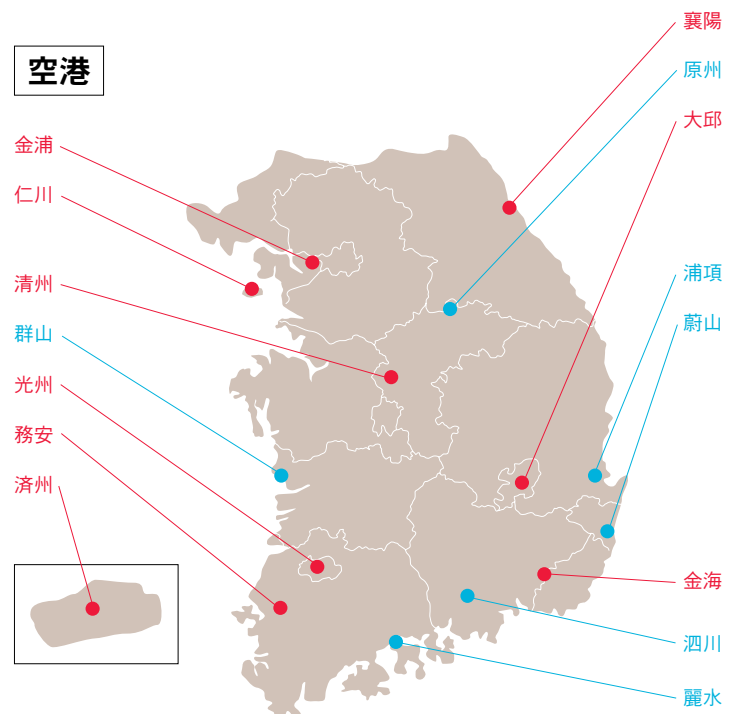
イースター航空 www.eastarjet.com

国際空港

仁川、金浦、済州、金海、清州、大邱、襄陽、務安

国内空港

群山、麗水、浦項、蔚山、原州、泗川、光州





Incheon International Airport

鉄道

高速鉄道(KTX)と一般鉄道が国土全体を連結している。現在、ソウル-釜山間のKTXの所要時間は二時間半程度で、一般鉄道の場合には最長で五時間半ほど掛かる。

運行駅と料金及びサービスについての詳細情報はKorailのウェブサイト、www.korail.comで確認出来ます。

道路

韓国を南北、東西に横切る多数の高速道路と国道及び一般道路があり、どこにでも簡単に移動することが出来る。韓国は右側運転で、交通量が多い一部の高速道路区間ではバス専用車線がある。

高速バス

少ない予算で長距離旅行を計画するなら、KTX 高速鉄道よりも安い高速バスが良い代案になるであろう。国土の隅々まで繋がっている高速バスは、普通一般高速と優等高速の二つの等級に分けられている。

バスターミナルなどの情報は、www.kobus.co.krで確認出来ます。

市内での移動

地下鉄

地下鉄はソウルを始め、首都圏地域、釜山、大邱、光州、そして大田で利用が可能である。料金は900ウォンからの一回用チケットを買うか、チャージ式の交通カードを購入して使用する。

ソウル地域の電鉄路線図は、www.seoulmetro.co.krで確認出来ます。

市内バス

市内バスは韓国内の小都市と大都市のどこでも利用することが出来る。バスの種類によって(路線の運行距離によって色分けされている)運賃は600ウォンから2,200ウォンまで様々だ。

その他の交通手段

レンタカーとタクシーも、やはりどの都市でも利用することが出来る。国際免許所持者の場合、入国後の1年まで運転が可能で、保険加入は必須事項である。タクシー料金はメーター制である。

宿泊

予算によって、最高級ホテルから低価格な民宿及びモーテルまで多様な種類の宿泊施設がある。長期間滞留を計画する場合は、コンドミニウムやレジデンスホテル、下宿などを利用することが出来る。

宿泊施設についての情報は、www.visitkorea.or.krで確認出来ます。

食事

韓国の食生活の中心は米である。最も典型的な韓国の食事はご飯、汁物やチゲ、多様なおかず(大方の場合、味付けされた野菜)と肉を添える。野菜に塩と調味料を加えて醃酵させたキムチは、最も基本的なおかずである。

韓国料理の中では、野菜とご飯を一緒に混ぜて食べるビビンバと、タレで味付けした肉を焼くプルコギ、牛や豚の骨付き肉を料理したカルビなどが外国人に好まれている。

西洋を始め、外国の食べ物、フュージョン料理を提供するレストランの数も徐々に増えている。世界的チェーン店のファミリーレストランであるTGIFとアウトバックステーキハウスなどもあり、マクドナルドやバーガーキングなどのファストフード店も多い。

通信

携帯電話サービス

外国人は短期で携帯電話を借りたり、自分の電話機で通信サービスを申し込むことが出来る。携帯電話サービスを提供する代表的な移動通信会社はKT、SKテレコム、LGがある。

追加情報を知る際の各会社の連絡先は次の通りである。

KT [<http://cs.show.co.kr>] tel: (+82) (0)2-2190-1180

LG U plus [www.lguplus.com] tel: (+82) 1544-0010

SKT [www.tworld.co.kr] tel: (+82) (0) 80-2525-011





国際電話

外国に電話を掛けるためには国際電話連結番号、国家番号、地域番号、電話番号の順でダイヤルしなければならない。

各会社別の国際電話連結番号は次の通りである。

KT: 001

LG Telecom: 002

SK Telecom: 00700

Onse Telecom: 00365

コーリングカードを使って、国際電話を掛けることも出来る。しかし携帯電話の普及により、コインやテレホンカードを使う公衆電話の数は、早い速度で少なくなっている。

インターネット

韓国は超高速のブロードバンドと無線インターネットサービスがどこでも可能で、インターネット接続が世界で最も早い国の一つである。インターネットカフェ(PCバン)は大都市でも小さな町でも簡単に見つけれ、一時間、1,000ウォン(約1ドル)程度の利用料金で使用でき、とても便利である。

郵便及び運送サービス

韓国は超高速のブロードバンドと無線インターネットサービスがどこでも可能で、インターネット接続が世界で最も早い国の一つである。インターネットカフェ(PCバン)は大都市でも小さな町でも簡単に見つけれ、一時間、1,000ウォン(約1ドル)程度の利用料金で使用でき、とても便利である。

郵便及び運送サービス

郵便局は毎週月曜日から金曜日、9時から18時まで業務が可能だ。郵便局を始め、私企業が運営している宅配サービスもやはり価格が安くて速い。普通なら2〜3日(休日がある場合は、3〜4日)の時間が必要となる。宅配価格は小型運送物が5,000

ウォンからである。

オートバイを利用したバイク便の配達サービスは、韓国ではクイックサービスと呼ばれ即時のピックアップと配達サービスが可能である。

郵便についての詳細事項は、www.koreapost.go.krで確認出来ます。

銀行

銀行は月曜日から金曜日まで、9時から16時30分まで営業する。両替は大部分の銀行で可能であり、ATM機械も至る所に設置されている。出金機能がある海外クレジットカードとチェックカードで韓国のATM出金機械から現金を引き出すことが出来る。

電力

供給電力は220ボルト・60Hzで、変圧器は電気屋などで購入出来る。フランス・ドイツ・オーストリア・トルコなどと同じ二口プラグを使用する。

ビデオとDVD

NTSCシステムを使っている。韓国で通用するDVDの地域コードは3で、マルチゾーンDVDプレーヤーも簡単に求めることが出来る。

有用な連絡先

112 : 犯罪通報と警察

119 : 消防及び救急医療

地域番号+114 : 電話番号案内

02-790-7561 : 国際救急救助電話(外国人を対象に24時間救急救助)

02-120 : ソウルコールセンター(ソウル市についての基本情報提供)



韓国の 映画産業

概要

国内産業

携帯電話と半導体、造船業に加えて韓国が国際的に名声を得ている産業分野の中での一つが映画である。去る10年間余り、韓国映画は様々な面で急成長を成し遂げ、質も量も刮目に

値する発展を見せた。2004年に頂点を極めた後、二本の映画が劇場で1000万人の観客を突破し、国際市場への進出も早くなった。映画に友好的な雰囲気と熱狂的な観客のおかげで、韓国の映画市場は2009年に世界で11番目の規模を記録した。（“PWC Global Entertainment and Media Outlook 2010-2014”より）

分類	Year	単位	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
製作	製作本数	-	80	82	87	110	124	113	138	152	216	229
	韓国映画市場占有率	%	53.5	59.3	59.0	63.8	50.0	42.1	48.7	46.5	51.9	58.8
劇場	全国観客数	10,000	11,948	13,517	14,552	15,341	15,877	15,083	15,696	14,681	15,972	19,489
	一人当たりの映画鑑賞回数	-	2.5	2.8	3.0	3.1	3.2	3.0	3.2	2.9	3.2	3.8
	スクリーン数	-	1,132	1,451	1,648	1,880	1,975	2,004	2,055	2,003	1,974	2,081



世界市場での認知度

韓国映画は独創的な物語と、躍動的な映像美で世界の注目を集めた。又、多数の映画が主要映画祭で評価を受け観客たちの目を惹きつけた。現在、世界の映画関係者たちが新しい才能を見つけるため、韓国に目を向けている。

韓国映画主要映画祭受賞歴

- <オールド・ボーイ> 監督-パク・チャヌク、2004年 カンヌ国際映画祭 グランプリ
- <サマリア> 監督-キム・ギドク、2004年 ベルリン国際映画祭 監督賞
- <うつせみ> 監督-キム・ギドク、2004年 ヴェネツィア国際映画祭 監督賞
- <シークレット・サンシャイン> 監督-イ・チャンドン、2007年 カンヌ国際映画祭 女優賞(チョン・ドヨン)
- <渇き> 監督-パク・チャヌク、2009年 カンヌ国際映画祭 審査員賞
- <ポエトリー> 監督-イ・チャンドン、2010年 カンヌ国際映画祭 脚本賞
- <ハハハ> 監督-ホン・サンス、2010年 カンヌ国際映画祭 ある視点部門大賞
- <ピエタ> 監督-キム・ギドク、2012年ベネチア国際映画祭 金獅子賞



投資誘致及び収益構造

投資構造

韓国映画の資金調達には主にエクイティファイナンス方式で成り立っている。エクイティファイナンスとは原則的に資本回収を保障するのではなく、投資で発生する利益によって持分を回収する方式である。映画の版權を所有しているメイン投資会社が概ね投資誘致の責任を負う。韓国映画の資金調達は一般的にメイン投資会社、部分投資会社、そして自力で投資を誘致することが出来る制作会社の三つのタイプ

で構成される。配給権を所有するメイン投資会社は、制作会社が誘致した投資金と部分投資会社が製作費のために貸してくれる投資金を運用し版權を所有する。メイン投資会社は又、製作全般を調整し完成の責任を負い、費用と利益に対する会計報告と版權販売を進行する。部分投資会社は製作費の一部をメイン投資会社に提供し、その持分率によって版權販売で発生した利益の配当を受ける。

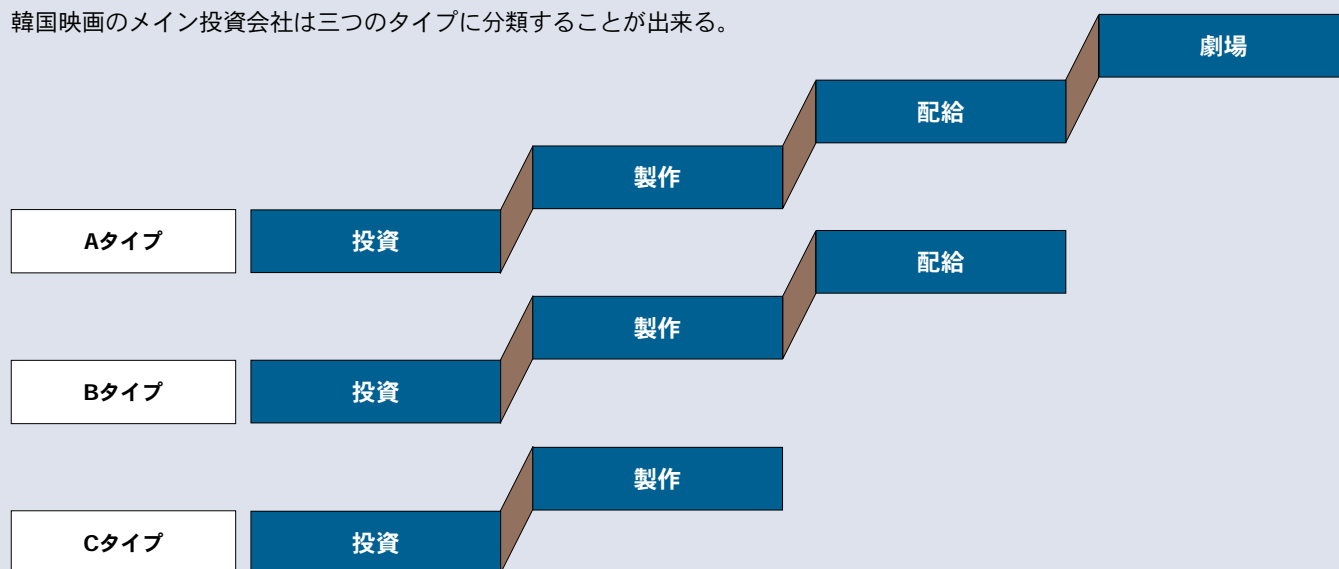


投資金の誘致比率分布

分類	名前
投資&配給会社(メイン投資会社)	CJ E&Mショーボックス・メディアフレックス ロッテエンターテインメント N.E.W
映像専門投資組合(映画ファンド)	CJ創業投資(ベンチャーキャピタル)ソービック創業投資その他
金融機関	韓国貿易保険公社など
個人投資者	様々な個人投資者

メイン投資会社のタイプ

韓国映画のメイン投資会社は三つのタイプに分類することが出来る。



タイプAのメイン投資会社とは、韓国の映画産業において最も大きな影響力を持つ存在であり、2つの会社がこのタイプに属する。韓国で最も大きいシネマコンプレックスチェーンであるCGVとその子会社のプリマスシネマを保有しているCJ E&M、巨大シネコンチェーンのロッテシネマを運営するロッテエンターテインメントがこのタイプとなる。

タイプBのメジャー投資会社としては、ショーボックス（SHOWBOX）・メディアフレックスが挙げられる。ショーボックスは、一時保有していたメガボックス映画館チェーンを現在は所有していないが、依然として主な投資会社の一つとして挙げられる。その他、タイプBに属する会社と

しては、N.E.W、シナジーなどの会社が挙げられる。

タイプCのメイン投資会社としては、ユナイテッドピクチャーズ(United Pictures)とKMカルチャーなどが挙げられる。近年注目すべき点は、モバイル通信会社を持つ財閥が映画業界へ参入し、衛星放送、IPTV放送に向けた版權購入に積極的で、メインの投資会社として位置づけられてきていることだ。韓国のマーケットでモバイル通信会社のSKブロードバンドが投資会社として参加し、韓国最大の有線通信会社でありモバイル通信マーケットで2位を維持しているKTもIPTV版權を確保するために、コンテンツへの投資を進めている。

全映画配給会社別の市場占有率_2012

(単位: USD/ 1USD = 約 1,000ウォン)

順位	配給会社	本数	全国の売上高(USD)	全国売上高シェア	連絡先
1	CJ E&M	43	384,778,607	26.7%	www.cjent.co.kr
2	ショーボックス(株)メディアフレックス	11	182,170,563	12.6%	www.showbox.co.kr
3	ロッテエンターテインメント	44	173,331,046	12.0%	www.lottecinema.co.kr
4	N.E.W	16.5	169,980,254	11.8%	www.its-new.co.kr
5	ソニー・ピクチャーズ・リリーシング・ウォルト・ディズニー・スタジオコリア(株)	18	188,252,468	13.1%	
6	ワーナー・ブラザーズコリア(株)	10	101,575,204	7.0%	
7	ユニバーサル・ピクチャーズ・インターナショナルコリア(有)	15	59,699,977	4.1%	
8	20世紀フォックスコリア(株)	13	55,385,762	3.8%	
9	フィラメントピクチャーズ	5	20,783,114	1.4%	
10	(株)SBSコンテンツハブ	8.5	15,028,153	1.0%	
	その他	519	92,272,096	6.0%	
	合計	703	1,443,257,250	100%	

* 映画館入場券統合ネットワークKOBIS(電子発券システムを持つ劇場の99%が参加)

投資ファンド

韓国でベンチャーキャピタル会社らが運営する映像専門投資組合は、部分投資者として金融投資の重要な位置を占める。一般的にこのファンドは製作費の約40%までを充当する。映像専門投資組合は2001年以後、韓国映画産業の発展に大きく寄与して来た。普通5～7年の周期で運用されるこのフ

ァンドは映画産業の安定した投資手段であると同時に、投資誘致の重要な誘引策となった。現在、映像コンテンツ投資ファンドの活動は依然として活発であり、政府次元の参加も下記の表で見るように相当な割合を占める。

2000～2012年 映像専門投資組合結成規模

(単位：百万USD/1USD=約1000ウォン)

年度	ファンド規模	※KOFIC投資	※SMBA投資	個人投資
2000	68.5	10	24	34.5
2001	30	5.7	-	24.3
2002	9	1.8	2.7	4.5
2003	39	7	9	23
2004	62	10	24.5	27.5
2005	62.3	8.1	15	39.2
2006	46.7	10	8.1	28.6
2007	52	9	15.2	27.8
2008	34.3	18	9.1	7.2
2009	47	14.5	13.2	19.3
2010	25	11	-	14
2011	12	6	-	6
2012	10	5	-	5

* KOFIC：韓国映画振興委員会 / SMBA：中小企業庁



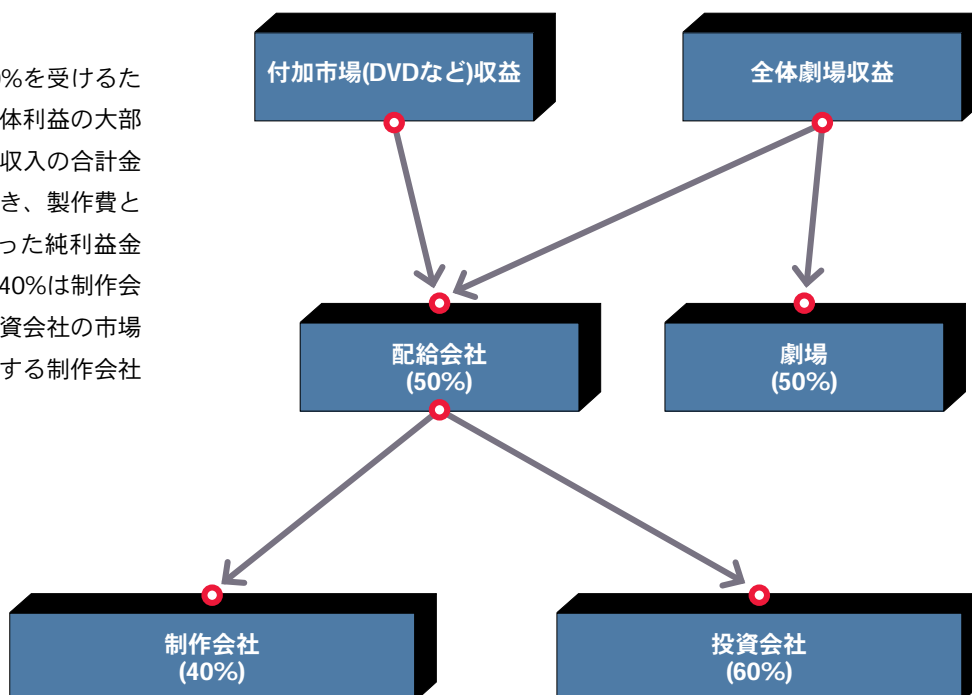
2010年現在で活動中のファンド

(単位：百万USD/1USD=約1000ウォン)

名称	運用期間	規模	KOFIC投資	SMBA投資	個人投資
ACTI企画開発ファンド	2008.03.26(2013. 4)	4	2	-	2
ポストグローバル映像コンテンツ	2009. 1.30(2016. 2)	31.4	9	4.4	18
イスグローバルコンテンツ	2009. 4.23(2016. 4)	21.15	7	1.69	12.46
CJ 創業投資 11号文化コンテンツ	2009. 2.16(2014. 2)	10	2	3	5
CJ 創業投資 12号グローバルコンテンツ	2009.11.20(2016.11)	41.9	12.2	13.2	16.5
キャピタルワン多様性映画専門	2010. 3.18(2015. 3)	5	2.5	-	2.5
ソビック映像	2011. 1.4(2018. 1)	15	5	-	10
キャピタルワン中・低予算映画専門	2011.5.30(2016.5.30)	12	6	-	6
イスSMコンテンツ専門	2011.10.13(2016.10.12)	10	6	-	4
キャピタルワン韓国映画ルネサンス	2012.10.11(2017.10.10)	10	5	-	5
ソビック映像	2011. 1.4 (2018. 1)	15	5	-	10

収益分配

メイン投資会社は劇場から上映収入の50%を受けるため、韓国映画の場合は劇場上映収入が全体利益の大部分を占める。上映収入の50%と付加市場収入の合計金額から約10%を配給手数料として差し引き、製作費とPR費用も差し引く。このようにして残った純利益金額のうち60%が投資会社の持分であり、40%は制作会社に流れることになる。最近ではメイン投資会社の市場占有率が高くなるにつれて、純利益に対する制作会社の持分率は徐々に下落している。



映画産業の基盤





人材

韓国の映画人たちは勤勉さと革新的なアイディアで世界的な名声を得ている。優れた監督から熟練されたスタッフ、ポストプロダクション作業の専門家に至るまで、韓国は全世界映画の人材市場で最も競争力が高い国の一つである。韓国が撮影地としてアジアの中で好まれる理由は、何よりも豊かな人材資産のためであろう。

華麗な受賞暦を持つ作家、監督、プロデューサー

韓国の監督とプロデューサーたちは海外の映画界でも高い評価を得ている。キム・ギトクの『春夏秋冬そして春』、パク・チャヌクの『オールドボーイ』、イ・チャンドンの『ポエトリー』など韓国映画はカンヌ国際映画祭を始め、主要な映画祭で様々な賞をさらった。多くの専門家たちはこれらの成功秘訣として、“創意力”を挙げている。

優れた才能の俳優

去る10年余り、韓国俳優は韓流の中心としてアジア全域の観客に多く愛されて来た。アジアエンターテインメント産業の先頭を走る彼らの優れた演技力は高い評価を受けており、アジアだけでなく世界の映画人から強く注目されている。

最近になって、チョン・ドヨンが『シークレット・サンシャイン』でカンヌ国際映画祭にて主演女優賞を受賞し、イ・ビョンホン、ピ(Rain)、チャン・ドンゴンがそれぞれ、『G.I.ジョー』、『ニンジャ・アサシン』『ウォリアーズ・ウェイ』などのハリウッド映画で主要な役を演じた。その活躍ぶりは国際的な水準を一段階上がったといえるだろう。

革新的で柔軟なスタッフたち

革新的で柔軟なスタッフたち

韓国映画スタッフの強い職業倫理と情熱は他と比べようがない。シナリオとロケーションハンティング、撮影監督、衣装デザイナー、スタントと照明技術に至るまで、韓国には多方面で国際的な経験を持つ専門的で献身的なスタッフがいる。

熟練された編集作業の専門人材

韓国のIT産業がその優秀性を認められているように、ポストプロダクションの人材たちも同じである。フィルム現像からデジタルとVFX製作に至るまで、早くて確実な彼らの優れた技術は断然、世界的な水準を誇る。

映画の人材に関する詳細情報は韓国映画振興委員会のウェブサイト、www.koreanfilm.or.krで確認出来ます。



Namyangju KOFIC Studios



設備

韓国には映画撮影のための多様な規模の野外セットとスタジオがあり、現像装備、サウンド及びデジタル映像設備も多数、具備されている。又、多くの撮影施設は政府支援と民間投資者が支えており、コストパフォーマンスの高い効率性を保障する。

野外撮影セット

映画やTV撮影のために使われる主要な野外撮影セット（スタジオ）は現在28ヶ所ある。その中の大部分が地方に位置し、全羅道が11ヶ所で一番多くのセットを保有しており、忠北と慶北が合わせて8ヶ所で、その次に続く。大部分のセットは地方政府やTV放送局の投資で建てられた。28ヶ所のセット中、15ヶ所が 33,000m²以上の規模である。

セット場は普通、古代から近代まで主に時代劇を撮影する際に使われるが、一部では教会、監獄などの現代劇セットの設備も持っている。

より詳しい情報は次の章に紹介される、各地域のフィルムコミッションに連絡すれば知ることが出来る。

防音撮影スタジオ

韓国の多くの映画スタジオの中で、最も頻繁に使われる所は4ヶ所ある。一日の使用料は各スタジオの規模と備えている設備によって違い、USD300ドルからUSD1000までのラインである。製作事務所やその他、空間、消耗品設備、倉庫などの支援サービスも提供される。



防音撮影スタジオ

地域	名前	面積 (m ²)
京畿道南揚州	KOFIC総合撮影所 (www.koreanfilm.or.kr)	A Studio: 1,322 B, C Studio: 992 E Studio: 777 F, G Studio: 413
京畿道坡州	アートサービススタジオ (www.art-service.co.kr)	A Studio: 1,322 B Studio: 992 C Studio: 661
大田広域市	大田映画撮影スタジオ (http://djacts.kr/)	A Studio: 1,092 B Studio: 672
釜山広域市	釜山映画撮影スタジオ (www.bfc.or.kr)	A Studio: 837 B Studio: 1,650

野外セットとスタジオ

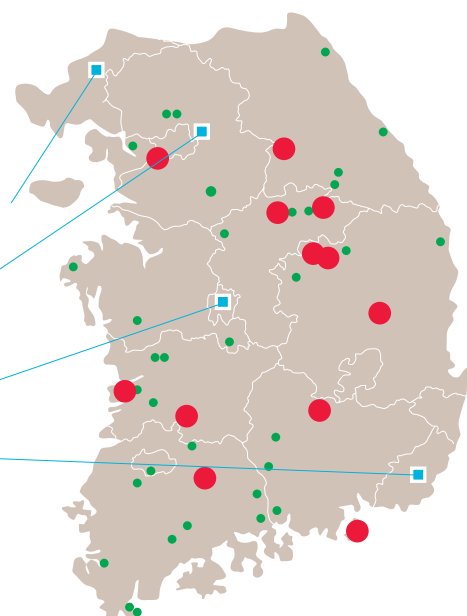
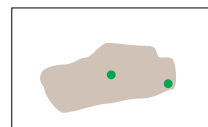
- More than 33,000m²
- Less than 33,000m²

アートサービススタジオ

KOFIC総合撮影所

大田映画撮影スタジオ

釜山映画撮影スタジオ



ポストプロダクション

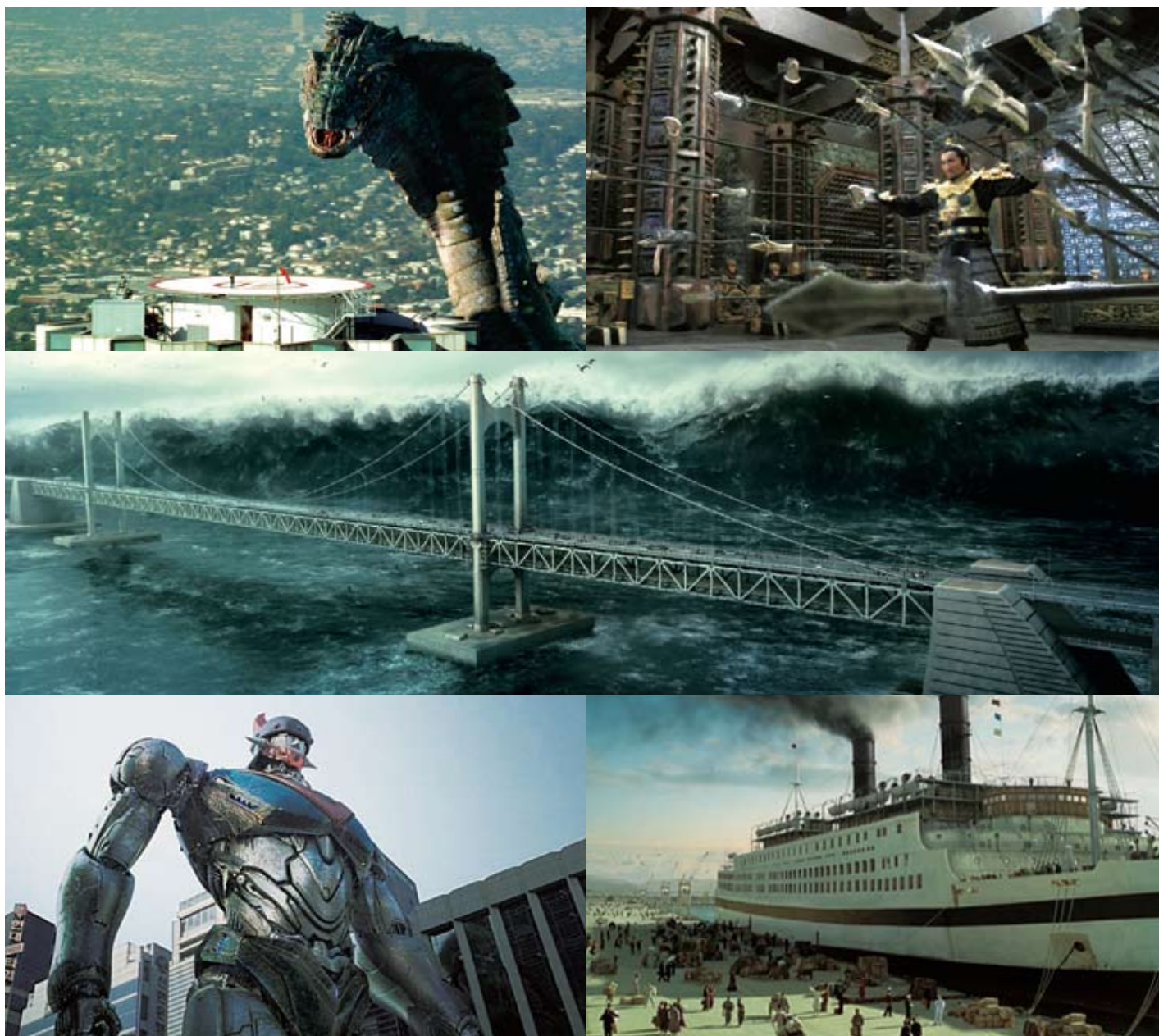
韓国は全ての編集作業工程を一ヶ所で進めることの出来る最適の場所となっている。編集、フィルム復元のような伝統的な現像室からサウンドとデジタルの編集作業に至るまで、韓国は最新の機器を揃えた先進設備を提供する。韓国のポストプロダクションサービスは高い品質によってアジア地域の映画人たちに多く愛されている。



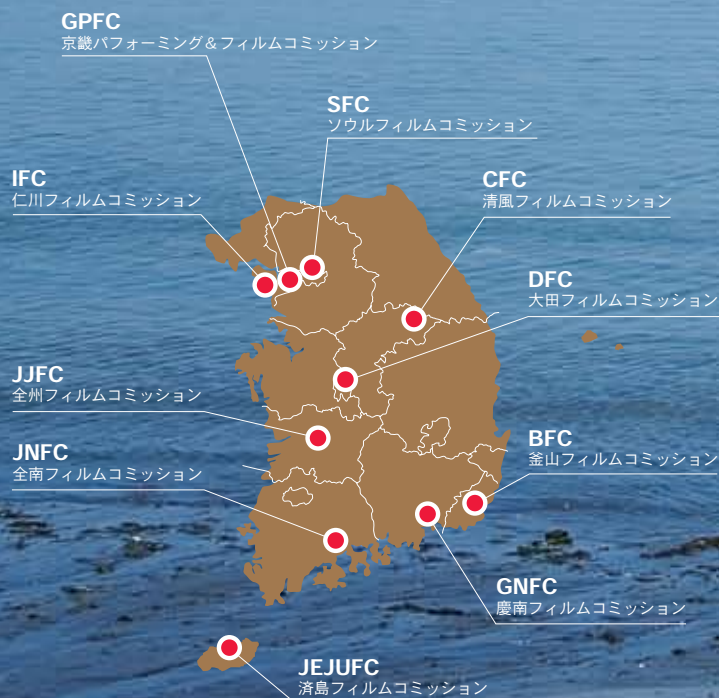
視覚効果

韓国のCGI視覚効果と特殊効果は世界的水準で、効率性の高い大規模業社から柔軟なサービスを提供する小規模会社まで、多様な種類のサービスを体験することが出来る。アジア地域の共同製作映画や国際的に好評を博した国内映画に見られるように、韓国の視覚効果はその適応力と精巧さで高く認められている。

安定的な超高速インターネットインフラのおかげでCGI作業を始め、その他のデジタルソースはすぐにインターネットで確認が可能であり、これにより多くの時間と費用を節約することが出来る。



地域のフィルム コミッション



韓国のフィルムコミッションはしっかりとした協力体制を構築しており、2013年現在で主要都市と地域に計10ヶ所のフィルムコミッションがある。各地域のフィルムコミッションは映画製作に必要なサービスを提供しており、公共施設の撮影許可や交通統制、人材雇用、その他にも撮影時に必要なサポートに至るまで様々なサービスを行っている。いくつかのフィルムコミッションの場合には、装備、撮影スタジオやポストプロダクション施設などのレンタル業務も兼ねている。フィルムコミッションの主な情報は次の通りである。



SFC_ ソウルフィルムコミッション

紹介

首都として600年もの歴史があり、伝統と現代が共存するソウルは、映画に必要な全てのものを提供出来る場所である。山と川に囲まれた美しい自然環境が都市の背景となっており、高層ビルと多様な国宝、そして伝統的なスタイルの建物が多く共存している。映画関連会社や施設の95%がソウルにあり、国内製作映画の40%余りが毎年この都市で撮影される。海外市場で韓国映画の注目度と人気が高くなるにつれ、ソウルは外国映像物や国際共同製作でも興味ある撮影地として注目されている。

主なロケーション

•光化門は歴史的な建物の一つ景福宮の大門で、韓国で一番大きな広場である光化門広場を見下ろしている。

•ソウルの真ん中に位置するNソウルタワーと南山は、ソウル市民の家庭と職場を見守っている。
•漢江はソウルの江南と江北を横切る河で、その幅は1kmに達する。又、夜になれば27本の橋が美しい照明に光り輝く。

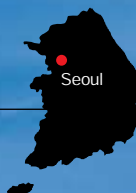
海外作品に対するインセンティブ制度

映画製作支援プログラム

ソウルで撮影する映画とTV番組の製作費に対する25%を還給する制度で、ソウルについてのマーケティング潜在力が特別に高いプロジェクトの場合には、限度額を1億ウォン(約USD85,000)まで高めて支援することも出来る。

ロケーションスカウティング支援プログラム

ソウルで撮影する海外プロジェクトの監督、助監督、



プロデューサー、撮影監督、もしくはロケーションマネージャーたちに、ソウルのロケーションスカウティングに必要な費用を支援する。(航空料金、宿泊費、現地ロケコーディネート)

インフラ&製作支援

- ロケーションFAMツアー：海外の映画人を招待して撮影ロケーションを見せ、韓国の映画人との出会いを取り持つ。
- フィルムコリア(www.filmkorea.or.kr)：ロケーションデータベースと業界ディレクトリー、韓国での映画撮影についての基本情報を提供するオンラインデータベース。

最近の支援作品

<悲夢> キム・ギドク監督、韓国・日本 (2008)

<カフェ・ソウル> 武正晴監督、日本(2009)

<冬の小鳥> ウニー・ルコント監督、フランス・韓国 (2009)

<ハロー・ストレンジャー> バンチョン・ピサナタナクーン監督、タイ(2010)

<黄海> ナ・ホンジン監督、韓国・アメリカ(2010)

連絡先

Seoul Film Commission

2F Inseong Bldg. 51-3 Chungmuro-2-ga, Jung-gu,
Seoul, 100-861, Korea

TEL) +82 2 777 7184 FAX) +82 2 777 7097

www.seoulfc.or.kr / mark@seoulfc.or.kr

BFC_ 釜山フィルムコミッション



紹介

人口約350万人の釜山広域市は、21世紀の先端産業と古き時代の面影が共存する都市である。高層ビルが立ち並ぶ産業都市としての姿と特有の地域性が調和し、ロケーション撮影に魅力的だ。港町、釜山は過去と未来の共存、山と海そして川が織りなす環境、独特な地域性とグローバル性で世界の映画人たちを魅惑している。

主なロケーション

- 廣安大橋、釜山市のランドマークで海を横切る圧倒的な眺めを演出する橋。
- 立ち並ぶ高層ビルを背景にしたヨット競技場

- コンテナ埠頭と港町特有の異国的な魅力をかもし出す釜山港
- 釜山国際映画祭を訪れる海外の映画人なら、誰もが忘れられないチャガルチ市場と南浦洞
- 地域の多様な景観と郷愁が入りまじる路地
- 行政の効率的な協力によって、地下鉄や公共施設での撮影が可能

海外作品に対するインセンティブ制度

スカウティング及びポストプロダクション支援

プロジェクト一つにき、ホテルの30部屋を10日間3名に提供する宿所支援プログラム

インフラ&製作支援

釜山映画撮影スタジオ

敷地面積 : 23,946.98m²、延べ面積 : 7,110.855 m²

防音スタジオ

セルフレベリング工法で完璧な床での平面作業が可能

便利なワイヤーアクションを演出するための天井ワイヤー

リング施設

映画とテレビ、どちらも可能な巨大グリーン&ブルースクリーンの設置

釜山映像ベンチャーセンター

プロデューサー、空中および水中撮影、美術、メイクなど映画の専門人材を紹介

安い価格と良い条件でカメラ装備をレンタル

釜山映像ポストプロダクション施設

DI、VFX、デジタルシネママスターリング、サウンドなど、ポストプロダクション作業を一つの場所で解決出来るオーダーメイド設計のポストプロダクション空間を提供

最近の支援作品

<着信アリ ファイナル> zx 麻生学監督、日本（2006）

<花影> 河合勇人監督、日本（2007）

<HERO> 鈴木雅之監督、日本（2007）

<ビバリー・ヒルズ Ninja> ミッチェル・クレバノフ監督、アメリカ（2008）

<東京タクシー> キム・テシク監督、韓国・日本（2009）

連絡先

Busan Film Commission

2F Busan Cinema Studios, 1392, Woo 1-dong, Haeundae-gu, Busan, 612-824, Korea

TEL) +82 51 720 0301 FAX) +82 51720 0300

www.bfc.or.kr

GPFC_ 京畿パフォーミング&フィルムコミッション



紹介

京畿道の歴史的・文化的な特性を活用する映像産業の基盤を整え、これを基に韓国映像産業が世界進出を果たす革新的な役割を担うため、“アジアを越えて、世界映像産業の中心に跳躍する京畿道”というビジョンを持って、2005年に京畿フィルムコミッションとして発足した。京畿フィルムコミッションは、京畿道での映像物の撮影支援及び撮影許可が、ワンストップサービスでサポートすることを基本に成長し、2009年に公演産業と道民の文化福祉向上のために京畿パフォーマンス&フィルムコミッションと機関の名称を変更、多様な公演・映像育成事業を推進している。

主なロケーション

- いにしへの城跡が生きている水原の華城行宮
- 昔の姿がそのまま再現されている龍仁民俗村
- 建築物の美しい街・坡州のヘイリ芸術村と出版団地

・華城のオソム飛行場

・加平のチャリ島

海外作品に対するインセンティブ制度

京畿で使用される製作費に対する最大20%までを現金で支援（助成限度1億ウォン）

最近の支援作品

<ハローゴースト> キム・ヨンタク監督、韓国（2010）

<悪魔を見た> キム・ジウン監督、韓国（2010）

連絡先

Gyeonggi Performing&Film Commission
9F 202-Dong, Chunui TechnoParkII, 202 Chunui-Dong,
Wonmi-Gu, Bucheon-Si, Gyeonggi-Do, 420-857, Korea
TEL) +82-32-623-8042 FAX) +82-32-623-8080
www.gpfc.or.kr



紹介

仁川市は朝鮮半島で最初に西洋の現代文化を受け入れた場所であり、その後、多文化・多人種の港湾都市として発展した。2014年のアジアゲーム開催地である仁川は、世界的にも高い名声を得た空港と港があり、これを基に国際中心都市へと成長しつつある。ソウルに極めて近く、付近には100余りの島、そして伝統と過去と現代が調和する都心の町並みが、ロケーションに最適な環境を提供する。

主なロケーション

- 仁川国際空港
- 仁川港：ソウルの関門ともいえる黄海に面した港
- 松島国際都市：未来的な雰囲気の新都市
- チャイナタウン：大規模の異国的な雰囲気を提供
- 仁川大橋：世界第5位の長さの斜張橋がある海上の大橋

海外作品に対するインセンティブ制度

仁川で使用された製作費用に対し、最大25%まで現金支援（支援限度1億ウォン、約USD85,000）

最近の支援作品

<渇き> パク・チャヌク監督、韓国（2008）

<ダンスタウン> チョン・ギュファン監督、韓国（2010）

連絡先

Incheon Film Commission

Incheon Art Platform, 10-1, Haeon-dong, Jung-gu, Incheon, 420-021, Korea

TEL) +82 32 455 7171 FAX) +82 32 455 7191

www.ifc.or.kr



CFC_ 清風フィルムコミッション



紹介

“清らかな水と明るい月の故郷”とは、忠清北道を称する言葉である。美しい山と溪谷、そして清風フィルムコミッションが存在する堤川市の素晴らしい風景は、高い名声を誇っている。又、堤川市を取り囲む清風湖も秀でた風景として有名だ。近距離に位置する月岳山国立公園は、険しい丘と切り立った岩山で昔から霊妙な山と呼ばれている。

主なロケーション

- ・義林池：韓国で最も古い貯水池の一つで、松林と柳に取り囲まれており、30mの高さの自然の滝と噴水がある。
- ・忠州湖：よく知られる釣り場で、広く水平な湖。
- ・飛鳳山：忠州湖に取り囲まれた鷹の姿をした山で、海にぽっかり浮かぶ島のように見える

インフラ&支援可能サービス

堤川メディアセンター

編集室、オーディオ&映像スタジオ、映画アーカイブがある
撮影スタジオ、規模：325.2m²

堤川SBSセット

テレビドラマの撮影に使用された朝鮮時代用のセット
規模：19,392m²、1日のレンタル料：約750USD

<神機箭>セット

映画『神機箭』の撮影に使用された朝鮮時代のセット
1日のレンタル料：約750USD

堤川KBSセット

テレビドラマの撮影に使用された古代王朝用のセット
規模：16,353m²、1日のレンタル料：約750USD

最近の支援作品

<神機箭> キム・ユジン監督、韓国（2007）

<不良男女> シン・グノ監督、韓国（2010）

連絡先

Cheongpung Film Commission

Jecheon Media Center 2nd Floor, #110 Cheongjeon-dong, Jecheon-si, Chungbuk, 390-110, Korea

TEL) +82 43 645 4995, +82 10 8748 0506(mobile) FAX)

+82 43 645 4996, www.cpfcr.or.kr / theplay1@daum.net





紹介

大田は大規模な行政団地と研究団地が入居しており、韓国で5番目に大きな都市である。韓国の中心に位置し、他都市との往来もスムーズで交通の要所でもある。都心には三大河川が流れ、大きな湖が近くにあり水資源が豊かで、自然の風景とハイテク産業団地の光景が調和を成している。

主なロケーション

- 大渚湖：韓国で3番目に大きい湖で、80kmに及ぶ湖畔路と大渚ダムがある。
- プリ公園：島を連想させる独特の風光を持ち、韓国の136の姓氏の由来を石の彫刻に刻んである。
- 大田総合樹木園：人工的に造成された都市の真ん中にある樹木園で、感覚庭園、休養林、湿地公園、エコの森、茂みの森とムクゲの花の丘がある。

海外作品に対するインセンティブ制度

大田で映像物の撮影時、地域内での消費額の20%を現金支援

インフラ&支援可能サービス

大田映画撮影スタジオ

各1,140m²と670m² 規模の防音スタジオ

4K高画質試写室

ワイヤーアクション及びクロマキー装備を完備

編集作業室との関係が簡単

最近の支援作品

<双花店> ユ・ハ監督、韓国（2010）

<チョン・ウチ伝> チェ・ドンフン監督、韓国（2010）

連絡先

Daejeon Film Commission

DFC Organizing Committee, ACTS, 3-1 Doryong-dong,
Yusung-gu, Daejeon, Metropolitan City

TEL) +82 42 479 4114 FAX) +82 42 479 4125

<http://djfc.co.kr>

JJFC_ 全州フィルムコミッション



紹介

全州は野菜と肉とご飯を混ぜて食べる韓国料理のビビンバ、そして今も多くの人々が実際に暮らす伝統家屋が並ぶ韓屋村で有名な都市である。又、昔の趣と文化遺産が街の随所に残り、毎年400万人以上の観光客が訪れる観光都市でもある。全州は野原、海、山だけでなく、最先端の現代建築物に至るまで短時間で簡単に接することの出来る撮影ロケーションで、毎年30本以上の映画とテレビドラマが撮影されている。

主なロケーション

- 韓屋村：よく保存された伝統家屋が700棟以上ある村
- セマングン：黄海にそって広がる干拓地
- 高敞学院農場：992,000m²の平野(4-5月は麦畑、9～10月は蕎麦畑の撮影が可能)

海外作品に対するインセンティブ制度

全州・全羅北道インセンティブ助成システム

地域内で撮影を始める時点から、現金及び現物を支援

全州映画総合撮影所インセンティブ

全州映画総合撮影所のセット使用料の20%～70%を割引
(1日160USD～260USD / 公式価格330USD)

インフラ&支援可能サービス

盆山の監獄セット場

刑務所内、内部施設のセット造成

全州映画スタジオ

面積1,044 m²の室内セットと面積46,281 m²の野外セットを造成

ワイヤーアクション、クロマキー、水圧コントロール装備を完備

倉庫及び付帯ビル

GFM Dollyシステム完備

最近の支援作品

<義兄弟> チャン・フン監督、韓国（2010）

<マイウェイ> カン・ジェギョ監督、韓国（撮影中）

連絡先

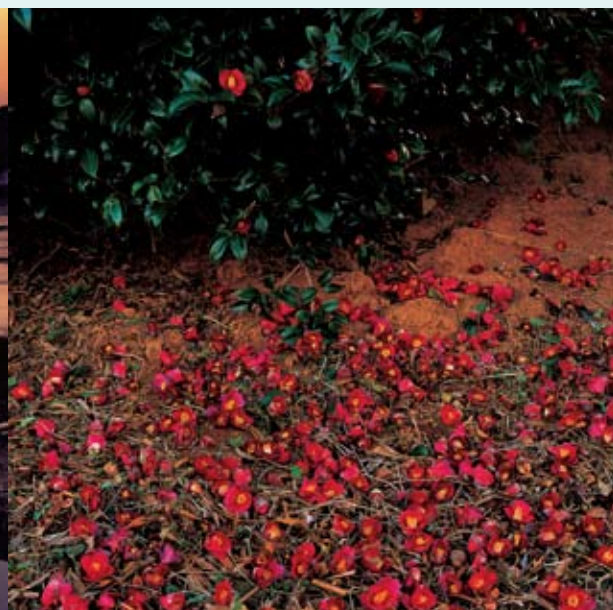
Jeonju Film Commission

502, Girin Officetel, 155-1, Gosa-dong, Wansan-gu, Jeonju, Jeollabuk-do, 560-706, Korea

TEL) +82 63 286 0421 FAX) +82 63 286 0424

www.jjfc.or.kr / jeonjujjfc@naver.com





紹介

全羅南道は美しい自然と汚染されていない景観が神秘的な地域だ。近海には数百の島々と数々の海洋国立公園を有し、卓越した海洋観光資源と文化を誇る。又、全羅南道は今も韓国人の味覚をとりこにする豊かな食の古里として、この地域だけの独特な食べ物も有名である。

主なロケーション

- 順天湾：韓国最大規模の葦原があり、風に揺れる葦が絶景を提供する。
- 順天楽安邑城：200棟余りの藁葺き家がある伝統家屋村。
- 麗水の梧桐島：防波堤と灯台、椿の森、海の洞窟、奇岩の絶壁、磯釣り、海の眺めなど、多彩な自然の光景がある。
- 麗水の沙島：7つの島が繋がっている島。
- 光陽のコンテナ埠頭：西南海岸で最も大きなコンテナ埠頭の一つ。
- 光陽の青梅農園：蟾津江にそって位置し、毎年5月になると梅の花が満開になり、まるでぼたん雪を思い起こさせる。（面積：165,000m²）

インフラ&支援可能サービス

順天のオープンセット場

近代韓国を再現したオープンセット

羅州の三韓志テーマパーク

古代韓国を再現した時代劇用のセット

莞島の青海浦区新羅坊セット

古代の村と港があるオープンセット、面積：66,000m²

谷城蟾津江貴汽車村

昔の鉄道を利用した観光名所

最近の支援作品

<千年鶴> イム・グォンテク監督、韓国（2007）

<チョルラの詩> 川口浩史監督、韓国・日本(2010)

連絡先

Jeon-Nam Film Commission

Olympic Memorial Community Center 3F Palmaro,
Suncheon, Jeollanamdo, Korea

TEL) +82 61 744 2271 FAX) +82 61744 2273

www.jnfc.or.kr

GNFC_ 慶南フィルムコミッション



紹介

慶尚南道（慶南）は朝鮮半島の南の端に位置している。太白山脈が東にあり洛東江が中心を横切るこの地域は、山、自然公園、温泉、溪谷、海岸、湿地と森、島が作り出す美しい天然資源を誇る。慶南フィルムコミッションが表現するならば、ここは美しい自然と豊かな伝統が息づく場所であるといえる。

主なロケーション

- ・南海三千浦大橋：陸地と島を繋ぐ幻想的な景観の橋
- ・小每勿島：海岸に切り立つ絶壁の風光が素晴らしい小さな島
- ・菩提庵：海を見下ろす山の中腹にある美しい寺

海外作品に対するインセンティブ制度

慶尚南道地域で消費した製作費用の30%まで現金支援

インフラ&支援可能サービス

陝川映像テーマパークの野外セット場

近代韓国の姿を写し出す野外セット場で、164の建物と町並み通、列車1台、電車2台、軍装備32点（面積：78,420m²）保有している。

海洋ドラマの野外セット場

建物25棟、港、船舶3艘、水上家屋などが整った野外セット場がある。（面積：43,469m²）

黄梅山映画テーマ公園の野外セット場

山の中腹に位置した野外セット場で、古代家屋31棟、風車10台、物見やぐら、鍛冶屋などが設置されている。（面積：14,657m²）

東河郡土地文学村の野外セット場

藁葺き家47棟、瓦屋根の家5棟、水車、村の市場などが設置されている。（面積：21,441m²）

最近の支援作品

<ハロー・ストレンジャー> パンジョン・ピサヤタナクーン
監督、タイ（2010）

<義兄弟> チャン・フン監督、韓国（2010）

連絡先

Gyeong-Nam Film Commission
Masan Main Stadium in Gymnasium #447, Yangdeok-dong, Masan-City, Gyeongnam, 630 725, Korea
TEL) +82 55 296 0303 FAX) +82 55 296 5924
www.gnfc.co.kr / star@gnfc.co.kr



紹介

済州は平和の島であり、未知の島として知られている。美しい自然環境と長い歴史、そして独特な文化を誇り、四季に渡り多様な絶景を目にすることが出来る。国内外の数多くの監督たちが自然という素晴らしいセットのため、映画の撮影地として好む場所である。

東北アジアの要地という地理学的な位置から、済州島は東南アジア国家と中国、日本の間で架け橋の役割を果たしている。これに加え、漢拏山、西巨文岳の溶岩洞窟、城山の日出峰はユネスコ指定の世界自然遺産でもある。

主なロケーション

- 火山の爆発によって作られた島の随所の景観
- 360を越える山、丘、そして美しい海岸
- 草原、牧草地と整備された道路

海外作品に対するインセンティブ制度

- 企画及びシナリオのためのレジデンス支援制度（25日間宿泊可能）
- 審査を通して製作費（滞在費）の一部を支援

- 撮影のための重装備を支援（無騒音の発電車、キングクレーンやドリー、照明、レッカーなど）

インフラ&支援可能サービス

済州特別自治道との政策的協議を通じてオープンセットの敷地提供

キャスティング交渉支援

最近の支援作品

<D-WARS> シム・ヒョンレ監督、韓国（2007）

<宮廷女官チャングムの誓い> イ・ビョンフン演出（ヒットテレビドラマ）、韓国（2003-2004）

連絡先

Jeju Film Commission

837-20 Il-do-2dong, Jeju city, Jeju Special Self-Governing Province, Korea

TEL) + 82 64 727 7800-2 FAX) + 82 64 727 7900

www.jejufc.or.kr



法律及び税制度

会社法

海外映画製作者は連絡事務所設置、支店設立、韓国内の会社と共同製作、プロダクション サービスのみ受ける場合の総四つの方法で韓国で映画を撮ることができる。

(1)連絡事務所の設置

連絡事務所は、韓国で映画を撮ろうとする海外会社が法的な代表者として、韓国内に外国企業として登録することをする。つまり、韓国に位置するものだけで、実質的かつ法的には進出した海外親会社に属するため、すべての責任と義務が外国本社に属することになる。したがって、韓国内での独自のかつ商業的な契約取引のような営利活動は不可能であり、単に連絡事務所を設置した海外親会社のみが商業的な契約取引等ができる。特別な資本金は必要なく、簡単な登録手続きで業務を遂行することができ、限定的な資料調査及び情報収集、連絡などの目的である時は適合する。

連絡事務所の運営のために職員を法的に雇用したり、代表者本人が直接運営することができる。ただし、韓国国民でなければ韓国に入学するためのビザを獲得しなければならない。

<設置手続き>

1. 外国企業連絡事務所の設置申告(外国為替銀行)

2. 固有番号証の発給(管轄税務署)
3. 連絡事務所設置申告銀行に通帳開設(本社と連絡事務所間の資金送金はこの通帳で行う)
4. 連絡事務所設置所要時間：3日ないし4日

(2)韓国内法人の設立

外国人又は外国法人も韓国法人を設立することができる。現地法人は海外親会社が大株主で所有権を持ち、韓国法に則り独立的で新しい法的な拘束力を持つように設立した子会社である。すなわち、法的な面と会計処理面で親会社と全く別個で、雇用法、会社法、会計、税金に関するすべての法とすべての活動は韓国の法律に従わなければならない。韓国にはcorporationのみでなくlimited liability companyのような所有者の責任を制限する有限会社もあるので、適合した助言を求めて設立しなければならない。並びに、映画に関する業務を進行しようとする会社は映画振興委員会のガイドラインを

参考にして映画業申告を必ずしなければならない。

<設立手続き>

1. 外国人投資企業申告(外国為替銀行)
2. 事業者登録(管轄税務署)
3. 裁判所登記

(3)韓国内の製作会社と共同製作する方法

韓国の製作会社と多様な形の共同製作を進行することができる。契約の条件に伴う多様な接近が可能で、韓国内の共同製作パートナーが映画を製作する際の韓国内での投資、公的な手続き、契約、プロダクションなどに対する効果的かつ円滑な進行のようなことを全て責任を負うことができる。また、特定条件がみたされれば、韓国映画振興委員会と地域別映像委員会の支援制度等を通じて多様な財政的な支援メリットまで受けることができる。

現在韓国はフランス、ニュージーランドと映画共同製作協定を結んでおり、詳しい事項は映画振興委員会のウェブサイトを参考願う。



【参考】 Special Purpose Company (SPC)の設立

映画の投資及び執行の透明性と効率性を確保し、映画製作の管理、正確な収益の配分などを目的とする特殊目的会社で文化産業専門会社(spc)を設立することができる。

2010年10月末現在まで全38個のSPCが文化体育観光部に登録され運営中にあるが、一般的にSPC設立時期は作品の開発が完了してメイン投資が確定する時点より始まる。商法上、有限会社又は株式会社に会社の形態が分類され、文化産業振興基本法に基づき資本金は

1億ウォン以上を要する。

書類が完成して文化体育観光部に登録申請すれば、申請日から21日以内に登録証が発給されるが、一般的に登録まで要する期間は最小30日以上である。

(4)プロダクション サービスのみ提供してもらう場合

プロダクション サービスの場合、韓国の映画製作会社、プロダクション サービス専門会社、フリーランサープロデューサーなど、必要条件及び状況に合うように接触すれば良い。映画振興委員会のウェブサイトを通じて国際共同製作経験のある韓国

映画製作者及び製作会社リストを確認できる。

プロダクション サービス業者が決まれば、スタッフ、俳優、エキストラ、ロケーション、各種装備及び技術業者等、その他プロダクションに関する事項などに関わる製作支援の全サービスを受けることができる。

プロダクション サービスの代行料金は通常韓国内で進行されるプロダクションの総予算費用を基準に15%前後と知られており、ケースにより異なった適用が可能。

税金

(1)法人税(Corporate Tax)

韓国で収益のための事業活動をするには、税務署に事業者登録を行わなければならない。事業者登録をした場合には、国家間租税協約に規定された事項を除いては韓国の税法に従わなければならない。国内に設立された現地法人は基本的に事業者登録をしなければならない。

事業者登録をした場合には、通常1年単位で法人税を申告しなければならない。税率は課税標準2億までは10%、課税標準2億超過分に対しては22%が適用される。

ただし、韓国で事業者登録をしないまま臨時にプロダクション期間中に仕事をする外国会社は韓国の税法に従わないので、間接税(Indirect Tax)を除いては税金が賦課されることはない。例えば、事業者登録をしない単純連絡事務所、プロダクション サービスのみ受ける場合などがこれに該当する。

(2)付加価値税(Value Added Tax : VAT)

韓国の付加価値税は代表的な間接税として、事業者が財貨と役務を提供する時に価額の10%を供給してもらう者から徴収して申告及び納付しなければならない。韓国で事業者登録をした場合なら、定められた手続きと規定に基づき負担した付加価値税を控除してもらうか還付してもらえる。

したがって、事業者登録をしなかった国内居住者、単純連絡事務所又は韓国でプロダクション サービスのみ受ける

場合には、韓国の付加価値税法により申告など諸般義務はないものの、韓国内で財貨と役務の供給を受ける際は付加価値税は負担しなければならない。

1)外国企業業者の付加価値税還付

韓国で事業者登録をした場合には、負担した殆どの付加価値税を還付してもらえ、事業者登録をしなかった外国企業業者でも韓国で映画製作をしながら間接的に負担した付加価値税は還付してもらえる。還付が可能な例をあげれば、韓国での飲食、宿泊、広告、不動産賃貸、事務用機構・備品購入及び賃貸に付加された付加価値税が該当する。

2)還付を受ける手続き

韓国で事業者登録をした場合には、付加価値税(VAT)還付が会社の管理業務の一つであり、事業者登録をしなかった外国企業業者の場合には、税理士、公認会計士、その他付加価値税還付業務を専門とする者を代理人に定めて申請しなければならないので、こうしたビジネス取引が起きた場合に詳しく確実なサービスを受けるためには、韓国にある代行業者や人を指定して処理した方が良い。

(3)個人所得税(Individual Tax)等、Personal Taxation

所得の源泉が韓国の場合、韓国で発生した所得に対しては韓国に税金を納付しなければならない。外国人が韓国で所得が発生した場合、外国人に発生する韓国と自国との二重課税問題及び韓国での源泉

徴収問題を避けるために、韓国は殆どの国家と租税協約を締結しているので、韓国と自国との租税協約を先ず調べなければならない。

一般的に国内に事業場のない事業所得と個人が提供する短期的な役務所得は韓国で源泉徴収されないケースが殆どである。所得の種類によって源泉徴収対象となる場合があり、法の適用事項及び雇用形態、業務内容、業務期間、滞在期間など、多くの内容があつてこそ正確に税務処理を行える部分であるため、国際租税に詳しい公認会計士や税理士等と協議した方が良い。

韓国入国時のビザ発給

最近韓国は多くの国とビザ免除協定を結んでおり、これらの国は短期間の旅行の際はビザは必要ないものの、許容する期間を超過して滞留する時は必ず滞在目的に合うビザを発給してもらわなければならない。ビザには入国の種類と目的、滞在期間などが明示され、パスポートの査証にスタンプやステッカーを付けて発給してもらうことになる。普通、映画撮影のために韓国に入国する外国人は通常芸術興行ビザであるE-6のビザを発行してもらう。申請方法及び具備書類は、該当国の大韓民国の大使館又は領事館に査証発給を問い合わせれば詳しく知ることが出来る。

関税

(1) The ATA carnet(ATAカルネ)-装備運送に関する協定

ATAカルネは、韓国を含む30ヶ国以上のATA協約加入国間で一時的に物品を輸入/輸出又は保税運送するために必要とする複雑な通関書類や担保金の代わりをする証書で、通関手順を迅速かつスムーズに行う制度だ。したがって、ATAカルネを利用すれば通関時に付加的な通関書類の作成が必要ないのは勿論、関税及び付加価値税、担保金などを輸入国税関に納付する必要がない。すなわち、ATAカルネを利用すればATA協約加入国のどの国でも迅速かつスムーズに通関を行える。通関後の受領は直接受領する方法と貨物で持ってくる際に現地代理店通じて代理通関を受ける二つのケースがある。カルネは各国の商工会議所で取り扱う。

(2)特殊小道具&動物

1)小道具運送 - 武器類(銃砲、刀剣)等の運送時

映画製作のために銃砲及び刀剣が必要な場合が多い。しかし、銃器類は韓国内では許可なく国内搬入と搬出は行えず、その製作及び所有が禁じられており、これに対する管轄業務は現在韓国内の該当地方警察署の生活秩序係りでやっている。銃器小道具は撮影期間内に使わない時は地方警察署に保管することが原則だが、いつ使用するか分からないため、地方警察署の許可を得て安全な小道具倉庫に保管することができる。その他詳しい事項はプロダクション サービスを受けるパートナーを通じて確認でき、銃器類を

輸入する時はATAカルネで行えば必ず免税してもらえる。

2)動物輸入の場合

あらゆる動物の輸入と輸出、再輸出においては農林部長官の許可を、野生動物の場合には環境部長官の許可を得なければならない。また、あらゆる動物は通関時に国境で獣医科の検査を受ける。この時、動物の状態によって獣医師が必要だと見なせば長い間隔離して保護することもできる。また、動物のみ直接輸入して運送時に死ぬ場合もあるため、動物運送は関連団体の人々が直接付いて回る細かな管理が必要で

ある。したがって、動物を自国で一時輸入して再度送りだすには困難が多いため、韓国内の動物園、関連団体あるいは現地関連団体を利用してパッケージでレントするのが有利である。

(3)フィルムの運送及び通関

海外国籍の製作会社である場合、韓国でフィルムを輸入しようが自国から持ってこようが、あるいは撮影後フィルムを現像しようが韓国に入ってくる時に再輸出条件輸入あるいは賃加工輸出で通関して再度その国に送りだすため、通関手数料以外は関税及び付加価値税は生じない。



著作権

韓国で著作物は完成した時から如何なる手続きや形式の履行をしなくても自動的に著作権が発生して保護される。したがって、原作者は包括的な権利を持ち、著作権を他の人に譲渡したり他の人に自身の著作物を使えるように許諾することによって経済的な対価(ロイヤリティー)を受けることができる。万一、ある人が許諾を得ずに他人の著作物を使用すれば、著作権者は侵害者を相手に民事上の損害賠償を請求でき、その侵害者に対し刑事上処罰を要求(告訴)することもできる。

(1) 著作権の保護期間

著作権の保護期間は国内の場合は個人著作物は作者の死後50年であり、団体名義の著作物の場合は公表後50年である。保護期間の過ぎた著作物は誰でも自由に利用することができるようにしている。

(2) 著作物の正当な使用

著作権法の究極的な目標は著作物が円滑に利用されることも重要なので、裁判や学校教育、時事報道、図書館などでの利用、ひとえに個人的な使用のための複製、道端、公園建築外壁など公衆開放された美術著作物の複製などのように法が具体的に詳しく定めた場合には、著作物を法が定めた範囲内から自由に利用することができ、その詳しい類型及び要件は著作権法を必ず詳しく調べなければならない。

(3) 著作人格権

大韓民国著作権法は既存の著作権とは別に外国ではmoral rightと呼ばれる創作者の著作人格権を認めており、ここ

には氏名表示権、公表権、同一性維持権が含まれ、著作人格権は既存の著作権とは違って移転が不可能で、創作者が著作権者とは別に著作人格権を持ち続けることになる。

(4) 外国人著作物の保護

国内に紹介されなかった外国著作物でも1986年結んだベルン協約により韓国の著作権法によって保護される。

[参考] 外国人が韓国で著作物登録時の手続き

外国国籍を持つ者も韓国で著作権登録が行える。大韓民国内に常時居住する外国人、大韓民国内に主な事務所がある外国法人、著作物を一番最初に大韓民国内で公表した外国人、外国で公表された日から30日以内に大韓民国で公表された場合を含む外国人も内国人と同等に登録ができる。しかし、上記以外の外国人は大韓民国が加入又は締結した条約及び国家間の相互主義によりその保護が決定されるので、要件をそろえられない外国人は著作権登録を行えない。

著作権は韓国著作権委員会のホームページ(www.copyright.or.kr)にてオンラインで登録したり該当ホームページで登録に関する書式をダウンロードして作成した後、郵便で登録することができる。

[参考] 公共場所撮影時許可

韓国で駅、地下鉄、空港、公園、遺跡などでの撮影を望む場合、事前撮影許可を得なければならないのか確認する方が良い。小規模撮影の場合、殆ど許可なく撮影可能だが、施設の目的に妨害となる撮影は許可が必要になることもある。これに関する公共場所の撮影関連情報が必要なら、地域別映像委員会が持ったFILMING PERMITS、PUBLIC IMAGE、AUTHOR'S RIGHTS、BUY-撮影協力のための多様なネットワークを活用して見ることができる。例えば、映画製作チームらが簡単に撮影することができるように各警察庁のような公共機関の協力も得ることができ、遺跡の許可手続き及び使用料のような各種場所別案内をはじめとし、さらには工事中の場所、撮影を

避けるべき場所など、多様な情報を提供してもらえる。

(5) 肖像権

肖像権とは、人が自身の肖像に対し持つ人格的・財産的利益といえる。誰でも他人の顔、その他社会通念上誰であるかを識別できる身体的特徴を同意なく撮影したり公表できず、営利的に利用できない。しかし、映画内容と関連なく偶然公共場所で撮影された不特定人物はその結果によって如何なる被害を被ったとしても補償する必要はない。しかし、映画内容と関連しているなら同意を必ず得なければならず、可能なら書面で許諾を得た方が良い。特に、公認(public figure)はいつの時でも撮影して公表されても肖像権に束縛を受けないが、いわゆるパブリシティ権と

いってその名声に頼って商業的に利用できる権利が認められるので注意をしなければならない。損害賠償額の算定で普通の人の場合よりその賠償額が大きいためである。

(6) 音楽著作権

韓国で他人が著作権を持っている音楽を背景音楽に使おうとするなら、その音楽を新しく演奏するのか、売り出されているレコードに録音されている状態で使用するのかを決めなければならない。もしレコード自体を使用するなら、レコードを発売したレコード会社からその音源の著作権とレコードに録音されている音楽の著作権に対するライセンス2つを全て受けなければならない。音源に対する著作権はレコード包装に書かれているレコード会社に連絡

すれば良い。音楽に対する著作権の許諾を得るためには、作詞家及び作曲家を探さなければならないものの、普通これらは音楽出版会社に著作権の許諾を委託するケースが殆どである。韓国で音楽著作権者を探す場合は、(社)韓国音楽著作権委員会(<http://www.komca.or.kr>)に問い合わせれば良い。

[参考] 公共場所で撮影時に偶然挿入された音楽あるいは会話などに対する著作権

街頭等で撮影した際に映画と関係のない意図しなかった音楽や会話がやむを得ず挿入されたり撮影された場合には、著作物を利用すると見ることができず、その著作権者の許諾を得る必要はない。



韓国の共同製作者と出会うには

韓国の製作パートナーに出会うには様々な方法がある。その例として直接、プロデューサー団体に連絡したり、国際映画祭が主催するプロジェクトマーケットでビジネスミーティングの場を用いたり、韓国映画振興委員会の共同製作サポートプログラムに参加することなどが挙げられる。これに関連したいくつかの情報を紹介する。



韓国映画振興委員会のKO-PRODUCTION

KO-PRODUCTIONは"韓国"と"共同製作"を合わせた略語で、韓国の国際共同製作を助け、関連国家間の相互協力を増進させようと韓国映画振興委員会が作ったプログラムである。2006年韓中BIZ CAMPから始まり2012年現在、日本・フランス・アメリカなどでその領域を確張しながら、KO-PRODUCTIONという名前のプログラムに統一された。

このプログラムはプロジェクトピッチング、セミナー、プロデューサーワークショップとビジネスミーティング、ポストプロダクションのショーケースなど多様なイベントから構成されている。



•2012 KO-PRODUCTIONの行事

KO-PRODUCTION in Paris

9月18～20日、CNCと共同開催

KO-PRODUCTION in Tokyo

10月23～25日、ユニジャパンと共同開催

KO-PRODUCTION in Beijing

4月25日, 7月25日, 11月1日。

KO-PRODUCTION in LA

10月18～21日, Film Independentと共同開催

より詳しい情報は、韓国映画振興委員会の国際事業部を通して確認出来ます。

(www.koreanfilm.or.kr)

プロジェクトマーケット

Asian Project Market(前PPP)

釜山国際映画祭が主催するアジアフィルムマーケットと連携して開催されるAsian Project Marketは、韓国最大のプロジェクトマーケットで、監督、制作会社、共同製作者と投資者たちに多様なビジネスの機会を提供する共同製作のプラットフォームである。アジア映画に重点を置きながら、多数の主要プロジェクトを国際舞台に紹介しており、これらの作品は現在の主要映画祭で多様な成功を収めた。トルコのセミー・カプラノール監督の作品『ハニー』はベルリン国際映画賞金熊賞を受賞し、イ・チャンドンの『ポエトリー』はカンヌ国際映画祭で脚本賞を得た。カンヌ国際映画祭で批評家週間賞を受けたベトナムのファン・ダンディ監督の『BI, Don't Be Afraid』も、Asian Project Marketのプロジェクトである。

•公式プロジェクト提供事項

1. 共同製作者及び投資者たちとの公式ミーティングを取り持つ。
2. Asian Project Marketの授賞候補になる。(Asian Project Marketの受賞者は、現金を含む賞を受ける。)

•プロジェクト出品

投資が成り立っていない長編劇映画は、製作段階を問わず出品可能である。出品の申請は5月から6月まで受け付ける。

•連絡先



TEL: +82 2 3675 5097

E-mail: ppp@asianfilmmarket.org

Homepage: <http://ppp.asianfilmmarket.org>

NAFF(アジアファンタスティック映画製作ネットワーク)

NAFFは富川国際ファンタスティック映画祭、PiFanが運営するアジアジャンルの映画専門インダストリープログラムである。2008年から始まっており、4日間にわたって運営されるこの行事は、映画人たちに深化したビジネスプラットフォームを提供しつつ、アジアの代表的なジャンルの映画マーケットとしての座を掴んだ。NAFFは三つの詳細行事から構成されており、2011年7月17日から20日までは四回目の行事が開かれる。

•NAFF詳細プログラム

1. イットプロジェクト

ジャンル映画専門のプロジェクトマーケットとしては世界最初であり、毎年15本のプロジェクトを選定する。

2. インダストリープログラム

A. プロジェクトスポットライト

アジアの中から一つの国を選び、その国のジャンル映画と監督に集中してスポットを当てる。

•今までに選ばれた国：中国(2008)、シンガポール(2009)、台湾(2010)

B. NAFFフォーラム

国内外の主要映画人たちが参加して、ジャンル映画製作の主要案件を討論する。

C. インダストリー上映

ジャンル映画バイヤーたちのための上映を行う。

3. 幻想映画学校

ジャンル映画製作のための総合的な教育ワークショップと、韓国映画界の専門家たちのマスタークラスプログラムを準備している。

•連絡先

TEL: +82 32 327 6313 (内線 122)

ナム・ジョンソク NAFFチーム長: tommynam68@gmail.com

パン・ソンヨン 研究開発チーム長: naff.pifan@gmail.com / naff@pifan.com

Homepage: <http://naff.pifan.com/>

JPM(全州プロジェクトマーケット)

全州国際映画祭が開催するJPMは新人プロデューサーの独立映画とドキュメンタリー製作を支援して、効果的な隙間市場を作ることに寄与し、映画人たちに実際のサポートを提供する。韓国独立映画とドキュメンタリーが海外市場に進出する足掛かりになると同時に、優秀な外国映画が韓国で配給の機会を見つけれられるよう手助けする。

•イベントとサービス

1. JPP(全州プロジェクトプロモーション)

韓国の独立映画とドキュメンタリー映画を活性化しようという企画から出発し、三つのプログラムで構成されている。

プロデューサーピッチング：優秀なプロデューサーと優れた低予算デジタル映画の企画発掘をする。

ドキュメンタリーピッチング：韓国ドキュメンタリー製作を活性化し、ドキュメンタリープロジェクト支援する。

ワークインプログレス：全州国際映画祭に作品が上映されたことのある監督とプロデューサーたちが、現在製作したり、編集作業を進めている作品を支援する。

2. インダストリースクリーニング

インダストリースクリーニングは優れた外国映画を韓国観客に紹介し、韓国映画が世界市場に出ることを助ける。国内外の映画業界に従事する人たちだけが見ることの出来る制限上映で、全州映画祭で上映される全ての韓国映画の新作と外国映画の中で、大衆性を兼ね備えた秀作で構成される。

3. インダストリービデオ

全州プロジェクトマーケットは韓国映画振興委員会との共助で、最新の多様なプログラムを用意し、作品の国内外での配給機会を模索する。

4. ビジネスミーティング支援

全州プロジェクトマーケットは、JPM参加者たちが自らのプロジェクトを投資者及び映画業界の従事する人たちと共に論議をするビジネスミーティングの機会を取り持つ。

•連絡先

TEL: +82 2 2285 0562

E-mail: industry@jiff.or.kr

Homepage: www.jiff.or.kr

制作者協会

KFPA (韓国制作家協会)

1994年に創立された韓国制作家協会は制作会社を運営しており、少なくとも一本以上の映画を製作した経験のあるプロデューサーたちで構成されている。2010年12月現在、70人余りの会員が登録されていて、韓国映画の質的な向上と世界化、ハリウッドブロックバスターに対抗し、韓国映画の市場占有率を保護することに貢献している。主な活動は著作権保護、信託業、労使交渉及びCine-ERPサービスなどである。

•連絡先

TEL: +82 2 2267 9983

E-mail: kfpa@kfpa.net

Homepage: www.kfpa.net

PGK(韓国プロデューサー組合)

PGKは2007年に若い世代の韓国プロデューサーたちが創立した協会である。特定の制作会社での所属可否とは関係なく193人の個別プロデューサーたちで成り立っており、教育プログラムと組合員たちのための福祉プログラム、海外の映画人たちとの協力サポートなどを主な活動としている。

•連絡先

TEL: +82 70 7764 4677

E-mail: webmaster@pgk.or.kr

Homepage: www.pgk.or.kr

業界連絡先

韓国映画振興委員会(KOFIC)

韓国映画振興委員会は文化体育観光部の特別傘下の機関である。1973年に設立されて以来、韓国映画の発展及び振興に寄与し、映画製作、海外プロモーション、教育プログラムや技術増進などを支援して来た。韓国映画振興委員会は又、全国週間ボックスオフィスデータシステムを運営しており、多様な報告書と冊子などを発刊している。

206-46 Cheongnyangni-dong, Dongdaemun-gu,
Seoul 130-010, Korea
TEL: +82 2 9587 591~8, FAX: +82 2 9587 590
www.koreanfilm.or.kr

国際映画祭

提川国際音楽映画祭(JIMFF)

JIMFF Festival Office 127-1 Jecheon-Haksa, Anam-dong 5-ga, Seongbuk-gu, Seoul, 136-075, Korea
TEL: +82 2 925 2242, FAX: +82 2 925 2243
www.jimff.org

全州国際映画祭(JIFF)

5F Girin Officetel, 155-1 Gosa-dong, Wansan-gu, Jeonju, 560-706, Korea
TEL: +82 63 288 5433, FAX: +82 63 288 5411
www.jiff.or.kr

富川国際ファンタスティック(PiFan)

1F Comic Business Center, Korea Manhwa Contents Agency, 529-2 Sang-dong, Wonmi-gu, Bucheon City Gyeonggi Province, 420-030, Korea
TEL: +82 32 327 6313, FAX: +82 32 322 9629
www.pifan.com

釜山国際映画祭(BIFF)

Annex 2-1 Yachting Center, 1393 Woo1-dong, Haeundae-gu, Busan, 612-797, Korea
TEL: +82 51 747 3010, FAX: +82 51 747 3012
www.piff.org

ソウル国際青少年映画祭

#501 Pyung-Kwang Building, 19-19 Chungmuro 5-ga, Jung-gu, Seoul, 100-015, Korea
TEL: +82 2 775 0501, FAX: +82 2 775 0502
www.siyff.com / siyff@siyff.com

ソウル国際女性映画祭(WFFIS)

5F Seojeon Bldg, 1431-9, Seocho1-dong, Seocho-gu, Seoul, 137-865, Korea
TEL: +82 2 583 3598, FAX: +82 2 525 3920
www.wffis.or.kr / wffis@wffis.or.kr

団体及び協会

韓国独立映画協会

2F 82-9 Gongdeok-dong, Mapo-gu, Seoul, 121-800, Korea
TEL: +82 2 334 3166, FAX: +82 2 363 3154
www.kifv.org / kifv@kifv.org

韓国マネジメント協会

5F K707 building 70-7 Samsung-dong, Kangnam-gu, Seoul, Korea
TEL: +82 2 517 1563, FAX: +82 2 517 1566
www.cema.or.kr / exit7777@empal.com

全国映画産業労働組合

#402 Hongdo Building, 7-3 Pil-dong 2-ga, Jung-gu, Seoul, Korea
TEL: +82 2 771 1390, FAX: +82 2 753 1352
www.fkmwu.org / nojo@fkmwu.org

社団法人 韓国映画技術団体協議会

8-38 Yejang-dong, Jung-gu, Seoul, Korea
TEL : +82 2 779 1277 FAX : +82 2 779 1277
www.feco.or.kr

社団法人 韓国映画監督協会

217 Namsan Building, 34-5 Namsan-dong, 3-ga
Jung-gu, Seoul, 100-043, Korea
TEL : +82 2 771 8440 FAX : +82 2 771 8441
www.kfds.org

韓国シナリオ作家協会

201 Capital Building, 28-1 Pil-dong 3-ga, Jung-gu,
Seoul, 100-273, Korea
TEL : +82 2 2275 0566 FAX : +82 2 2278 7202
www.scenario.or.kr / scenario@scenario.or.kr

韓国映画撮影監督協会

#707 Sanglip Building, 296-2 Elji-ro, 3-ga
Jung-gu, Seoul, Korea
TEL : +82 2 546 5078 FAX : +82 2 3442 5078
www.theksc.com

韓国映画照明監督協会

#501 Ilho Building, 36-3 Choongmoo-ro, 5-ga
Jung-gu, Seoul, Korea
TEL : +82 2 755 6797 FAX : +82 2 778 5080
www.ksld.or.kr

社団法人 韓国映画人協会

#402 Yechong Hoegwan, Dongsung-dong,
1-117 Jongro-gu, Seoul, 110-510, Korea
TEL : +82 2 744 8064 FAX : +82 2 765 7050
www.koreamovie.or.kr seul1423@hanmail.net

女性映画人の集い

#502 Samsun Building, 11-6 Chungjin-dong,
Jongro-gu, Seoul, 110-130, Korea
TEL : +82 2 723 1087 FAX : +82 2 725 1087
www.wifilm.com workshop@wifilm.com

政府機関

文化体育観光部

2-70 Waryong-dong, Jongno-gu, Seoul,
110-360, Korea
TEL : +82 2 3704 9114
www.mcst.go.kr

その他の映画関連機関

韓国映像資料院

1602 DMC Complex, Sangam-dong, Mapo-gu,
Seoul, 121-270, Korea
TEL : +82 2 3153 2001 FAX : +82 2 3153 2080
www.koreafilm.or.kr

映像物等級委員会

1602 DMC 4F, 5F The Culture Contents Center
Sangam-dong, Mapo-gu, Seoul, 121-270, Korea
TEL : +82-2-3153-4300 FAX : +82-2-3153-4337
www.kmrh.or.kr

ACKNOWLEDGEMENTS

発行先 韓国映画振興委員会

発行人 キム・ウィソク委員長

編集人 バク・ドクホ国際事業部長

執筆 ハン・サンヒ国際事業部首席

チョン・ジュヒョン国際事業センター共同製作コーディネーター

デザイン JR Design

最大30%のロケーションインセンティブ

優秀な人材と、水準の高い施設や環境

地域のフィルムコミッションとの積極的な協力-

韓国には映画制作に必要な、全てのものが揃っている